

2017年度 大分大学福祉科学研究センター講演会

「地域社会における発達障害児とその家族への支援 ～将来を見通した仕組みづくり～」

【講演概要】

子どもの6%強を占める発達障害は、乳幼児期から成人期・老年期までの長い人生を貫く脳と行動の特性といえます。いまだ根本治療はありませんが、生後1年目から現れる発達の困難や生活上の様々な困難への早期療育は予後を変えうることがわかっており、今日、発達障害の早期発見と早期支援は世界的に共通する課題です。発達障害児が成長する過程で必要とする支援の内容は、情緒、行動、認知、対人、学習、注意、運動など複数の領域にわたり、個々の内容も変化します。それに応じた親への支援も必要不可欠です。支援の専門性は医療では小児科、児童精神科、精神科など複数にわたり、医療以外にも保健、福祉、教育などさまざまな専門家の支援が必要です。今日の、発達障害に特化した専門機関だけに依存する支援体制では到底現実のニーズにこたえられず、国レベル、地域レベルでの心の健康施策の一環として、あるいは子育て支援施策の一環としてどのように取り組むかという長期的ビジョンが問われています。公共的な課題として共有するためには社会全体が発達障害の認識をアップデートする必要があります。当日は、全国で始まろうとしている発達障害に対する地域支援のコンセプトとその根拠となるエビデンスについてお話しします。



日時 2017年10月21日(土)
15:00～16:30 (14:30 開場)

場所 大分大学医学部臨床大講義室
(挾間キャンパス)

講師
独立行政法人国立精神・神経医療研究センター
精神保健研究所 児童・思春期精神保健研究部
部長 神尾陽子氏

【対象者】 約300名 医療・福祉関係者、学生、教員、一般市民

【参加費】 無料

【申し込み方法】 必要事項「氏名、所属先、連絡先（FAXもしくはメールアドレス）」をご記入のうえ、10月18日(水)までに申し込みをお願いします。ただし、定員に満たない場合は、当日受付を行います。

【申し込み／問合せ先】 〒870-1192 大分市大字旦野原700番地
大分大学福祉科学研究センター 首藤 美智恵
TEL/FAX:097-554-7450
E-mail: fukusi@oita-u.ac.jp

【主催】 大分大学福祉科学研究センター

【後援】 大分県・大分県教育委員会・大分県社会福祉士会・大分県作業療法協会・大分県精神福祉士協会・大分県臨床心理士会・大分うつ病研究会・大分合同新聞社・NHK大分放送局・OBS大分放送・TOSテレビ大分・OAB大分朝日放送



講師プロフィール

83年 3月 京都大学医学部卒業
 83年 6月～84年 3月 京都大学医学部精神神経科研修医
 84年 4月～85年 3月 大阪赤十字病院精神神経科研修医
 85年 5月～85年12月 京都大学医学部精神神経科医員
 86年 1月～91年 9月 京都市児童福祉センター診療所精神科
 91年10月 渡英
 92年12月 ロンドン大学付属精神医学研究所 (Institute of Psychiatry)
 児童青年精神医学課程 (diploma course) 終了
 92年12月～1年 3月 京都大学医学部精神神経科助手
 00年 7月～1年 4月 フルブライト研究員として米国コネチカット大学 訪問研究員
 01年 4月～6年 6月 九州大学大学院人間環境学研究院 助教授
 06年 7月～10年 3月 国立精神・神経センター精神保健研究所児童・思春期精神保健部長
 07年 7月～10年 3月 国立秩父学園 医務課併任
 08年 7月～10年 3月 国立障害者リハビリテーションセンター研究所 併任
 10年 4月～ 独立行政法人国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所
 児童・思春期精神保健研究部 部長
 10年11月～ 国立大学法人 山梨大学医学部 客員教授
 17年 4月～ 国立大学法人 お茶の水女子大学 客員教授



駐車場（外来者駐車場）をご利用の方は、サービス券を講演会受付にて配布いたします

大分大学福祉科学研究センター

TEL/FAX:097(554)7450

E-mail:fukusi@oita-u.ac.jp

..... 講演会申込書

所 属 先	
代表者氏名	
連 絡 先 (メールもしくはFAX)	
参加者人数 (代表者含む)	